



第2部 熊谷のまちなかでの新たな取組み

東西軸 ビジョンに基づいた星川周辺の取組

第2部 イ 東西軸 ビジョンに基づいた星川周辺の取組

1 まちなかの現状

多くの地方都市と同様、熊谷市もまちなかの衰退が著しく、星川エリアも、消費者の購買行動の変化などによる影響を免れません。もともと商店が建っていたところを更地にし、駐車場として活用されている場所が多くみられます。

まちづくり熊谷の調査によりますと路面駐車場が全体の2割にもなっています。

駐車場の増加により商店街の連続性がなくなり、人の流れが減少してしまっています。

このようなまちなかを再生し、熊谷市が将来にわたり、魅力ある街として持続していくためには、行政だけの取組では限界があり、民間と行政が連携してまちづくりに取り組む必要があります。

そこで、公民連携のまちづくりのためのビジョンを策定し、またその実行にあたっての指針として、令和6年3月「公民連携まちづくり実践方針」を策定しています。

2 ビジョンに基づいた星川周辺の取組

まちなかには、これまでの民間のまちづくりの活動の中で2つのビジョンがあります。

東西軸1：熊谷まちなか再生『未来ビジョン』

(一社)熊谷まちなか再生エリアプラットフォーム

令和4年度作成

○官民学が連携して作成

熊谷市・地元企業・団体・大学の連携



目指す**将来像**を設定

- 1 駅からまちににぎわいを広げる
- 2 まちを心地よく歩く・移動する
- 3 まちなかで心地よく憩う



2

【東西軸1】

一つ目は「一般社団法人 熊谷まちなか再生エリアプラットフォーム」が作成した「熊谷まちなか再生・未来ビジョン」です。

こちらはエリアプラットフォームが国土交通省の「官民連携まちなか再生事業」の指定を受け、熊谷市、地元企業や団体、立正大学、ものづくり大学、千葉大学の官民学が連携して、月1回定例会を開く他、随時開催されたワーキングチームにおいて意見交換を行い作成したものです。

熊谷市の諸問題を洗い出し、共有しながら、おおむね20年以内に達成する目標を短期、中期、長期に分け検討し、これからを担う子供たちが、熊谷を魅力あるまちとして実感してもらえることを願って策定しました。

このビジョンでは熊谷駅と籠原駅から徒歩圏内でおおよそ15分のエリアにおいて3つの視点でまちづくりを推進しています

一つ目は 駅からまちににぎわいを広げる として

歩きやすい環境づくりとともに、魅力ある店舗を増やす

二つ目は まちを心地よく歩く・移動する で

ウォーカブルな街づくりでまちなかの回遊性を高める

三つ目は まちなかで心地よく憩う で

まちなかでの滞在時間を増やすために居場所づくりを目指す です。

東西軸2：『星川将来ビジョン』水辺の日常(とき)、ヒカル街

令和5年度作成



【東西軸2】

もう一つのビジョンは、令和5年度に多くの方々が参加し、意見を集めとりまとめた「**星川将来ビジョン**」です。

これは中心市街地の中でも特に星川沿いについて、公民連携でまちづくりを進めていく上で、市や民間企業が単発的に事業を実施するのではなく、「この地区の長期的な方向性やビジョンを定めて、地域で共有し進めていくことが重要」という考えの基、市役所だけでなく、地区の方々をはじめ、地域の学生やまちづくりにかかわる多くの民間団体の意見を聴き、一緒に議論を重ねて取りまとめられたものです。

28団体の意見を集め、750名以上のアンケートによりつくられた星川の目指す姿のキャッチフレーズは「**水辺の日常(とき)、ヒカル街**」とし、星川で暮らす人、働く人、訪れる人、どんな人にもある、星川での日常が輝くという姿を目標とし、新たな星川を作っていくというものです。

ヒカル街には6つのテーマがあります。

- | | |
|-----------------|--------------|
| テーマ1 川と触れ合える | テーマ2 時間を過ごせる |
| テーマ3 新しい活動が生まれる | テーマ4 涼を楽しめる |
| テーマ5 誰でも訪れやすい | テーマ6 まちを知れる |
- です。

熊谷市ではこのふたつのビジョン、特に星川沿いでは「**星川将来ビジョン**」に基づき、実際に令和6年度からウォーカブル事業に取り組んでいます。

それでは実際の、まちなか、特に星川沿いの景色を見てみましょう

公民連携の取組が始まっている、まちなかの景色を星川に沿って順に御案内します。

東西軸3：星川夜市



すっかり定着し、にぎわう星川夜市
主催：星川夜市実行委員会

【東西軸3】

最初に見えるものは、「**星川夜市**」です。

星川では、平成30年度埼玉県の「NEXT商店街プロジェクト」から、「星川夜市」がスタートし、以来、毎月第2土曜日に開催されています。

星川夜市実行委員会という民間主導で運営され、今ではすっかり定着し、多くの方々ににぎわっています。この活動は公民連携のまちづくりの先駆けとなりました。

東西軸4：星川広場 下の川床



子供たちの笑顔あふれる川床
熊谷女子高校の生徒を対象としたWSの意見が反映しています

星川将来ビジョン：1 川と触れ合える
4 涼を楽しめる



暑さ対策のための
パラソルが設置されました



【東西軸4】

星川夜市の開催場所の東端、駅前通り沿いの星川広場には令和6年、あらたに川床が作られました。座って憩うことができるこの川床を設置するにあたっては、日常的に通学路として利用している熊谷女子高校の生徒を対象としたワークショップを行いました。

人工芝を敷いたステージができ、7月にはパラソルが設置されました。日陰ができ、より居心地の良い場所になりました

こちらは星川将来ビジョンの中の

(テーマ1 川と触れ合える) (テーマ4 涼を楽しめる) の中にある 熊谷らしい日陰や涼のデザイン に基づいて設置しました。

暑さで有名な熊谷だからこそ、涼の取り方を検討したものです

東西軸5：民間ビル内に設置された公衆トイレ

令和6年12月
星川沿いゲートビル内に
9時から21時まで誰でも使える
公衆トイレがオープンしました



星川将来ビジョン:2 時間を過ごす



【東西軸5】

次に星川の中頃にあるゲートビル。ここは民間のビルですが、令和6年12月ビルの中に公衆トイレが作られました。このトイレは朝9時～夜9時までの間利用できます。

こちらは「未来ビジョン」を作成した一般社団法人 熊谷まちなか再生エリアプラットフォームが国のウォークブル事業の補助金を活用して、設置しました。

こちらは星川将来ビジョンの（テーマ2 時間を過ごす）の中の、居心地の良い場所づくりに対応したものです。

公衆トイレとして利用できる場所が星川沿いに増えたことで、まち歩きが安心してより楽しめるようになりました。

東西軸6：親水空間に作られた川床

星川将来ビジョン：1 川と触れ合える
4 涼を楽しめる



屋外のまちなかハブとしての機能を持つ川床
ワークショップの意見を集約してデザインされ、木陰ができました



【東西軸6】

次は星川で滞留を促すための仕掛けとしてつくられた星川の「上の川床」です。
この場所は、平成12年の星川シンボルロード整備事業で、親水広場として整備されましたが、歩行空間と川面の距離が遠く、また、日陰もなく留まりにくい状況となっているのを、より近く、より快適に川と触れ合え、遊べるような仕掛けとして、広い川床の中に椅子やテーブルが置かれ、大きな植栽による木陰を楽しめるようになっています。

星川将来ビジョンの（テーマ1 川と触れ合える）と（テーマ4 涼を楽しめる）の具体化です。ここも、民間の方々のWSの声を反映したデザインとなっています。

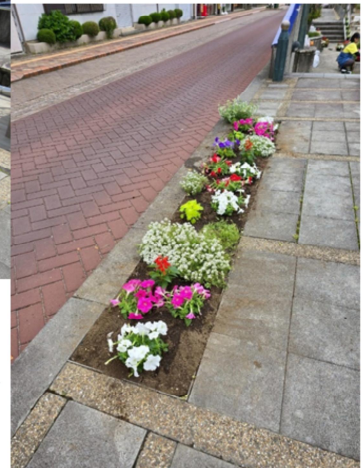
東西軸7：「花活＊」の活動

星川将来ビジョン：1 川と触れ合える
4 涼を楽しめる



冬の花

春の花



【東西軸7】

また、この上の川床では民間の方々の意見を集める「熊谷 街・妄想・ワークショップ」から生まれた、星川を花でいっぱいにするという民間の活動「花活＊」により、地植えにされた花がいっぱい咲いています。花の植え替えや、水やり、除草などの活動は民間団体の花活が自主的に計画、運営をしています。

東西軸8：とうろう流し



星川将来ビジョン:6 まちを知れる

戦没者慰霊の女神

【東西軸8】

熊谷は終戦の日の前夜の昭和20年8月14日の夜、市街地の2/3が一夜にして消失、266名の方が犠牲になりました。

星川とうろう流しは星川空襲の犠牲者の慰霊と恒久平和の願いを込め、昭和25年から始まったものです。

この川床を流し場として、毎年8月16日にはとうろう流しが開催されます。今年も8月16日に終戦80年を記念したとうろう流しが開催され、非常に多くの方でにぎわいました。

悲しい歴史ではありますが、星川将来ビジョンの（テーマ6 まちを知れる）の行事になります。

東西軸9：市営本町駐車場

星川将来ビジョン:5 誰でも訪れやすい



令和7年4月から料金改定で選ばれる駐車場に

- 1 入庫から1時間無料
- 2 1日上限額 600円⇒400円に値下げ
- 3 毎月第2第4土曜日は終日無料



【東西軸9】

熊谷は車社会です。星川将来ビジョンの（テーマ5 誰でも訪れやすい）を目的として、車利用の生活者でも星川に立ち寄りやすい環境を作ることにより、遠方から星川に訪れやすい環境を作ること大切です。

星川にほど近い場所に、市営本町駐車場があります。

令和7年4月、まちなかに多くの方に訪れていただくため、車でまちなかにいращやる方々に選ばれる駐車場となるため、市営本町駐車場の料金改定をしました。

熊谷市営本町駐車場は平成9年4月、供用が開始しました。当初は商店街の駐車場として利用する方も多かったのですが、周辺商店街の衰退とともに平成24年には経営が赤字に転じてしまい、駐車場としての存続についても議論されてきました。

様々な議論の末、令和7年4月からはまちなかにいращやる皆様の交通の要所となるよう、周辺の民間駐車場の料金を鑑み、料金改定を行いました。

入庫後1時間の無料、毎月第2、4土曜日は終日無料、1日あたりの上限額を400円に値下げ。これにより日常的に車を利用している方が車を止めてまちなかを楽しむ機会が増えることを期待しています。

ちなみに本日もシンポジウム開催を記念して特別に終日無料としました。せっかくの機会ですので、市営駐車場に停められた方はシンポジウム後にぜひ、まち歩きをお楽しみください。

令和8年度以降、皆様がより便利に利用できるよう市営本町駐車場の改修を行い、皆様に選んでいただける駐車場となっていく予定です。

東西軸10：星溪園 みずべdeごはん

星川将来ビジョン:2 時間を過ごせる

みずべdeごはん

2025 期間内ご来場の方にお菓きのプレゼント (先着順)
5.16 金 → 6.01 日
 9:00 → 16:00

場所 星溪園 熊谷市鎌倉町32番地 ※休園日：月曜日

緑あふれる空間で、ゆったりランチタイムを
 熊谷市の指定名勝「星溪園」の玉の池周辺に、
 期間限定のくつろぎ空間がオープンします。
 日常の喧騒から離れて、
 自然いっぱいの星溪園でランチタイムを過ごしてみませんか？

お弁当を販売予定
 5.20 金 → 21 土 11:00
 5.27 金 → 28 土 14:00
 お買い上げの方にお菓きのプレゼント (先着順)
 持ち込みもOK！
 ※マイボトル持参の方は、お水も持ち込み可

お問い合わせ：熊谷市役所商工観光課



5月実施 みずべdeごはんイベント

【東西軸10】

いよいよ、西のゴール、星溪園です。

星溪園では、5月に星溪園を知らない方に、まずは足を運んでいただくことを目的として「みずべdeごはん」というイベントを実施しました。星溪園の玉の池の周辺で和傘の下でご飯を食べてみませんかというイベントです。

2週間余りの期間ですが、特にお弁当を販売した4日間は、連日、お弁当は早い時間に完売になるほどで、初めて星溪園を訪れる方も含め、多くの方が星溪園でのランチを楽しんでいただきました。

星溪園

星溪園 ガーデンカフェ

お茶の時間には
市営水町茶室を
ぜひご利用下さい。

※ 期間中は入場券が2日間無料。
お茶・お菓子は別日
別日無料です。

世界を魅了する
パナソニックの
コーヒークースや
熊鷹堂が贈った
果実のプレミアム
他にも15ヶや
ソフトクリーム
も!!!

※ 詳細・ご予約はこちらから
LINE@よりQRコードを照会。* 当日も適用。*
LINE@とTwitterのどちらからでもご予約が可能です。

ぴんやり
お茶会ニストも
大歓迎!

※ 10時から
10分間
実施します!

（お茶会入場券）

お茶の時間には
市営水町茶室を
ぜひご利用下さい。

※ 期間中は入場券が2日間無料。
お茶・お菓子は別日
別日無料です。

営業曜日 火曜～日曜 / 営業時間 10:00～16:00

※ キャッシュレス決済のみ / ※ コーヒークースは予約制

【営業期間】

9月6日(土) ~ 10月26日(日)

※ 詳細・ご予約はこちらから
LINE@よりQRコードを照会。* 当日も適用。*
LINE@とTwitterのどちらからでもご予約が可能です。



東西軸12：星川通線グリーンスローモビリティ走行社会実験

星川将来ビジョン:5 誰でも訪れやすい



グリーンスローモビリティ:
時速20キロメートル未満で公道を走ることができる
電動車を活用した小さな移動サービス及びその車両

運行
予定
車両



星川通り沿いの移動の楽しみや利便性、回遊性の向上へ

期間: 2025年9月27日(土)~10月26日(日)

時間帯: 11~14時・15~16時(土日祝は17時まで)

【東西軸12】

9月27日土曜日から10月26日日曜日までの1ヶ月間、星川沿いをみどりの広場から星溪園までグリーンスローモビリティが走ります。

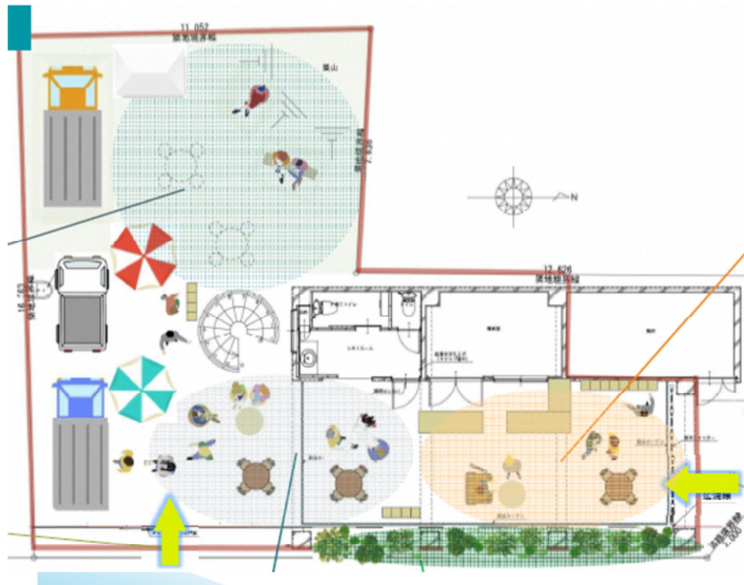
グリーンスローモビリティとは時速20キロメートル未満で走行する車両です。

期間内多くの皆様に体験いただくことで、交通まちづくりの視点を踏まえ、公共交通を補完・連携し、まちなか交通として新たなモビリティの導入の可能性を探っていきます。

こちらは無料で乗ることができます。乗り心地の良いグリンスローでまちなかの散策をお楽しみください。

ぜひ、多くの皆様に体験搭乗していただきたいです。

東西軸13：ITOMA(市有財産(遺贈物件)の活用)



星川将来ビジョン:3 新しい活動が生まれる



【東西軸13】

熊谷市筑波二丁目の市有財産、ここは元産婦人科医院です。令和2年、市に遺贈を受けましたが、なかなか活用されないままでした。

ここは、もうすぐ熊谷駅と星川周辺地域をつなぐ拠点となります。
令和7年秋から民間事業者により「まちなかのハブ」としての活用が始まります。

交流・滞在しやすいよう冷暖房はもとより、テーブル、ベンチ、水分補給等の休憩機能を備える場所となり、星川将来ビジョン（テーマ3 新しい活動が生まれる）の実現として、だれもが訪れやすい場所となります。

シェアカフェ、マーケット運営、シェア棚、スペース運営の4つの事業を通じて地域に新たなにぎわいが創出され、まちなかでチャレンジできる場となっています。

もう間もなく9月1日にプレオープン、10月11日に本格オープンとなります。

クロスシンボルロード25年の節目に星川では新たな動きが始まり、新しい風景が見られるようになりました。